

中津卓球ジムだより

第27号 2016年10月26日(水)

発行

中津卓球ジム 代表 宇土省三

TEL (0979) 31-7098

豊前市大会 団体戦

宇土クラブから7チーム参加

女子A (高倉・田中・秋吉) 準優勝

10月16日開催された豊前市大会に宇土クラブから一般男子3チーム、一般女子2チーム、マスターズ男子1チーム、中学生の部(小学生)1チームの合計7チームに及ぶたくさんの選手が参加しました。

試合はどのチームも健闘しました。昨年優勝の一般女子チームに期待がかりましたが、惜しくも決勝で惜敗し、準優勝となりました。会場では他の種目に出場の宇土クラブを応援する姿もあり、日ごろの練習で繋がっていることを感じました。



女子Bで大車輪の活躍 小野さん (向こう側)



男子Aダブルス 西崎・井上ペア (向こう側)



準優勝した女子Bのカットマン 秋吉さん (向こう側)

アルジ ジム主の卓球回顧録

「道場の主」が下宿退寮に！

学生時代は授業にもまじめに出ましたが、練習もかなりやりこみました。

昼間、授業のない時間帯があればやる気のありそうな同級生を捕まえては道場に行つて練習をしました。しかし、モチベーションの違いからちよつと迷惑そうでした。

夕方には部の規定練習が3時間ありましたが、終わった後夕食を食べて、夜再び道場に行つて練習するといった日々を送っていました。一日平均5〜6時間やっていました。そのころ部員からは「道場の主」いわれていました。

ところが、1年も終わりがけた3月末のある日の夜、下宿のおじさん、おばさんから呼び出しがかり

ました。

私は十数人いる下宿生でただ一人、離れの部屋に住んでいましたが、練習ばかりしていて主屋(おもや)の他の下宿生と交わることが少なかったことに、おじさん、おばさんは快く思わなかったのでしょうか。「宇土さん、4月からここを出て行つてくれないでしょうか」と言われ、あせんとしました。一生懸命卓球をやった結果がこれです。あまり練習しない卓球部の同級生や、先輩が同じ下宿にいましたが、その人たちはみな「無事」でした。割に合わない理不尽さを恨めしく思った1年生の終わりの出来事でした。



九州新人選抜合宿で (阿蘇にて 1977年)

大会のお知らせ

- 10/29(土) 鳥栖市チャリティ大会
 - 会場 鳥栖市民体育館
 - 小学生ホープス・カブ・バンビ
- 11/3(水) ジム主催 初心者交流大会
 - 会場 中津卓球ジム
 - 内容 シングルス (20~30人)
- 11/13(日) 中津近郊ダブルス大会
 - 会場 中津体育センター
 - 内容 男女・混合・年代別
 - 申し込み締切 10/25
- 11/13(日) 速見郡選手権大会
 - 会場 日出町営体育館
 - 内容 男女ABCクラス別
 - 申し込み締切 11/3
- 11/20(日) ジム主催 月例会
 - 会場 中津卓球ジム 13時~
- 11/27(日) 吉田孝一杯オープン大会
 - 会場 日田市総合体育館
 - 内容 一般男女S・W シニア男女S
 - 申し込み締切 11/12